

——お知らせ——

卒後教育プログラムの開講について

日本核医学技術学会 生涯教育委員会

日本核医学技術学会では、会員の生涯教育を目的として総会開催時に「卒後教育プログラム」を併催して参りました。

本年度も、福岡市で開催されます第26回日本核医学技術学会総会において、下記の内容で実施致します。

本プログラムは、1会場、2講座からなります。講演内容は「核医学検査の臨床的意義」および「放射性医薬品調整の基礎と実際」と致しました。昨年、核医学専門技師認定機構が設立されましたが、その専門技師の役割の中に以下の項目が含まれております。

- ・専門的な知識と技術を高め、高度な核医学検査を円滑に行うこと
- ・核医学検査における診断、予後、治療、予防の必要性の把握

今後、専門技師は検査データの臨床的意義や臨床的解釈をきちんと理解して検査することが必須で、これらが結果的に根拠のある情報提供につながるものと考えております。まずは上記も踏まえた基礎的な知識をしっかりと身につけて頂くことを目標に企画致しました。

今回、それぞれの分野でご活躍の講師にお願い致しましたので、一人でも多くの会員の皆様に受講頂きますようお願い申し上げます。

なお、本プログラムは核医学専門技術者認定の対象であり、認定単位として10単位が与えられます。受講者には、プログラム終了後に受講証を発行致しますので、単位申請時にご使用下さい。

記

日 時：平成18年 7月23日（日）14時30分～16時00分
会 場：福岡国際会議場 3階メインホール（メイン会場）
内 容

卒後教育プログラム

14時30分～15時15分

基礎講座Ⅰ「核医学検査の臨床的意義」 講師 佐々木雅之（九州大学医学部）

15時15分～16時00分

基礎講座Ⅱ「放射性医薬品調整の基礎と実際」

講師 河村 誠治（久留米大学医学部附属病院）